

2026年6月17日

日本ゼオン、高岡工場に新たな社員食堂を竣工
— 60年ぶりに刷新、社員の期待に応える新たな空間を創出 —

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:豊嶋 哲也 以下、ゼオン)は、この度、高岡工場(富山県高岡市、工場長:小瀬 智之)において新しい社員食堂を竣工しました。高岡工場において、社員食堂の刷新は60年ぶりであり、本日現地で行われた竣工式には、周辺自治会からご来賓をお招きしたほか、施工関係者、代表取締役会長 田中 公章をはじめとするゼオン関係者ら、31名が出席しました。本施設は、19日より高岡地区に勤務する社員向けの福利厚生施設として運用を開始します。



新社員食堂外観

高岡工場社員食堂は、1960年に完成、1966年に増築を行って以降、食事の提供を通じて高岡地区のゼオングループ社員を支えてきた一方で、建物の老朽化対策や多様化するニーズへの対応などの課題を抱えていました。今回、工場正門前に場所を移して新設された食堂では、こうした課題をクリアするだけでなく、社員が集い、憩える空間を創出することで、活発なコミュニケーションと心身の健康の両立が図られることを期待しています。

■新社員食堂の特長

①安全・安心な食の提供

従来比約2倍のスケールで生まれ変わる新食堂は、約500食/日の食事を提供します。また、耐震・洪水・浸水対策を実施し、より安全・安心に食事を楽しむことができる場所としました。

②地元・富山を感じるデザイン

自然豊かな富山県らしい自然を感じられる設えに加え、地元・高岡市の「金屋町」に見られる千本格子の家並みに見られる重厚な土蔵造りや、伝統工芸の高岡銅器・漆器のイメージを現代的に昇華したデザインとしました。

③コミュニケーションが生まれやすい空間の提供

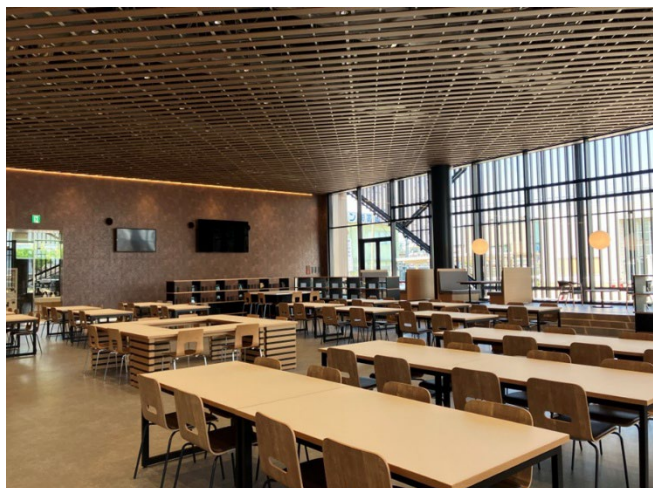
天井高は5~7mあり、自然光を取り入れ、外の景色を楽しめるような、開放的でリラックスできる空間とすることで、コミュニケーションが生まれやすい環境としました。

また様々なスタイルの座席を用意することで、多様なニーズに応えるだけでなく

フレキシブルなレイアウトが可能となり、今後の様々なイベント等で活用できる可能性が広がりました。

■新社員食堂の概要

構造	鉄骨造、平屋建て
延床面積	1,008 m ² ※従来比約2倍
座席数	181席 ※従来比2割増



新社員食堂は、2026年11月に操業70周年を迎えるゼオン高岡工場の新たなシンボルとなります。この空間が社員同士のコミュニケーション活性化の舞台となることで、マテリアリティに掲げる「心からワクワクできる会社の実現」を目指し、今後とも取り組んでまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 広報室 電話:03-3216-2747 お問い合わせフォームは[こちら](#)